



▶▶ Vol.24表紙写真

宮崎県の高千穂郷・椎葉山地域は世界農業遺産に認定されている地域だ。写真は其中的の1つ、日之影町戸川地区、「石垣の村」と呼ばれる地域。山の中にあるこの小さな集落には、石造りの蔵や塀、そして棚田を守るために築かれた石垣が数多く見られる。

高く築かれた石垣はさながら城壁のように立派で、独特な風情と存在感を醸し出していた。もっとも古いもので、嘉永年間（1848～1855）から安政年間（1855～1860）に築かれたものだといわれている。古くに作られた石垣が、今なおこの地の棚田を守るために機能しているということに驚きと感動を覚えた。急傾斜地での耕作のために石垣を築きあげたかつての村人の労力、そしてそれらを今日に至るまで継承し続ける村人の努力を思った。

石垣と棚田が織りなす風景はとても美しく、また季節によっても異なる様々な表情を見せてくれることだろう。写真はまだ田植え前の4月。レンゲの花たちがにぎやかに咲いていた。

（関連＝新連載 世界農業遺産 P20）

特集 農福連携

04 農・食・福祉の連携で
地域に新たな産業を

編集部 柳澤愛由

08 農福連携が拓く
農村集落の継続可能性

編集部 毛賀澤明宏

12 地域の期待に応え
地域とともに歩みながら

編集長 鹿野なつ樹

16 「里山福祉」の実現を
人と人とのつながりが
作る福祉の形

編集部 柳澤愛由

18 ごちやませ探索食記 鳥居青葉
メロン

20 連載世界農業遺産VOL.1 編集部 毛賀澤明宏
九州・宮崎「高千穂郷・椎葉山」で考えた

24 家族につくりたいくづるごはん
そら豆と山菜のジユレ

26 農家を訪ねてVOL.22 編集長 鹿野なつ樹
挑戦 ジャパニーズバルサミコ酢

30 食のあんしん認定プログラム、発進！
専門機関2社連携で直売所をサポート

32 田舎で働く若者24 奥田悠史
ひとつの理念の中で複数の生業で生きる田舎暮らし

34 発酵に学ぶ 其の六 牧内伸英
飯尾醸造の富士酢

38 地域野菜あまから訪問記 信州大学術研究院農学系准教授 松島憲一
やたらと旨い「ぼたんこしょう」

40 全国直売所訪問記 京都&奈良編 編集部 柳澤愛由
道の駅 吉野路大淀iセンター
道の駅お茶の京都みなみやましろ村

45 田んぼのはなし 小川昭

46 栽培履歴・防除歴管理システム
産直新聞社が連携して新開発！

48 直売所に向けた野菜作りVOL.24 コスモファーム代表 中村敏樹
なぜ今 野菜ソムリエなのか

50 売上データの分析・活用方法を探る 第8回 編集部 毛賀澤明宏
データから「潜在的な需要」を読む

54 農工大野見山教授の農業経済VOL.24
農協「改革」とは何か

55 地産地消の人々VOL.24 全国農産物直売ネットワーク 森岡亜紀
地域内連携と未来への橋渡しを考える

56 土から育てるVOL.13 編集部 毛賀澤明宏
有機農業で中山間地の農業集落を守る
―島根県の山村で47棟のハウス栽培

60 次号予告
編集後記